



## H.248 nt/qualert イベントの実装

バーチャルメディアゲートウェイ (vMG) は、メディアフローが停止していると判断したときに、メディアゲートウェイコントローラ (MGC) に対して 1 つまたは複数の Megaco イベントを発行します。ただし、コールが保留中または保留タイマーの時間がすでに経過している場合を除きます。生成されるイベントは、H.248.1 v3 Network Package Quality Alert (nt/qualert) イベントまたは Middlebox (ETSI TS 101 332 V4.1.1) Pin Hole Timer Expired イベントのいずれかです。

Middlebox (ETSI TS 101 332 V4.1.1) Pin Hole Timer Expired イベントは、終端レベルでサブスクライプされ、デフォルトでイネーブルであり、変更はできませんが、対照的に nt/qualert イベントは、終端レベルに加えてストリームレベルでもサブスクライブできます。ただし、レポートが行われるのは、ストリームに限られます。

さらに、Middlebox Pin Hole Timer Expired イベントとは対照的に、nt/qualert イベントは変更できません。

### H.248 nt/qualert イベント実装の機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.5.0	このコマンドは Cisco CRS-1 に初めて追加されました。

## 内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- 「[H.248 nt/qualert イベントの実装に関する制約事項](#)」 (P.419)
- 「[H.248 nt/qualert イベントの実装に関する情報](#)」 (P.420)
- 「[H.248 nt/qualert イベントの設定](#)」 (P.420)
- 「[その他の関連資料](#)」 (P.421)

## H.248 nt/qualert イベントの実装に関する制約事項

- Network Package Quality Alert イベントを要求するときに、しきい値を指定できます。vMG はこのパラメータに対して任意の有効値 (0 ~ 99) を受け入れますが、イベントをトリガーする値は 99 だけです。vMG が検出するのは完全なメディア障害だけであり、ネットワークの輻輳などが原因で生じる、部分的なフレーム損失は検出できないからです。
- メディアタイムアウトタイマーは、終端またはストリームが最終パケットを受信したときにリスタートします。

- DBE はすべての nt/qualert しきい値を同じものとして取り扱います。
- MGC が通知メッセージに応答しなかった場合は、10 秒後に DBE によるイベント通知の生成が停止します。
- DBE は、H.248 アソシエーションの停止中はイベント通知を生成しません。
- H.248 アソシエーションがリセットされると、保留中のイベント通知は失われます。
- H.248 アソシエーションの停止中に、終端（またはストリーム）でメディア タイムアウトが発生した場合は、DBE によってコンテキストが削除されます。
- MGC がシグナリング ピンホールに対する nt/qualert イベントをサブスクライブしようとしても、DBE によって拒否されます。

## H.248 nt/qualert イベントの実装に関する情報

イベント サブスクリプションは、ストリームのライフタイム中であれば、追加または削除が可能であり、ストリームの両側で別々にイベントがモニタされます。

vMG がメディア損失を検出したときに、前述のイベントの一方または両方を生成することも、どちらも生成しないことも可能です。

新しいイベント サポートによって、次の機能が拡張されます。

- メディア損失発生時に `Middlebox-Pin-Hole-Timer-Expired` イベントを生成するように、CLI を使用して MGC をプロビジョニングすることができます。この機能をディセーブルにすることもできます。これはデフォルトの動作です。
- さらに、メディア損失の検出時にストリーム単位または終端単位で `Network Package Quality Alert` イベントを生成するように、MGC をプロビジョニングできます。ただし、イベントの報告は必ず、ストリーム単位で行われます。

## H.248 nt/qualert イベントの設定

ここでは、vDBE がメディア損失を検出したときに、`Middlebox Pin Hole Timer Expired` イベントを生成するかどうかを設定する手順について説明します。

### 手順の概要

1. `configure`
2. `sbc service-name`
3. `dbe`
4. `vdbe`
5. `h248-media-alert-event`
6. `commit`
7. `exit`

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>configure</code>  例： RP/0/0/CPU0:router# configure	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ2	<code>sbc service-name</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config)# sbc mysbc	SBC サービスのモードを開始します。  • <code>service-name</code> 引数を使用して、SBC の名前を定義します。
ステップ3	<code>dbe</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc)# dbe	SBC の Data Border Element (DBE) 機能のモードを開始します。
ステップ4	<code>vdbe</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe)# vdbe	仮想 DBE (vDBE) パラメータを設定するモードを開始します。
ステップ5	<code>h248-media-alert-event</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe)# h248-media-alert-event	vDBE がメディア損失を検出したときに Middlebox-Pin-Hole-Timer-Expired イベントを生成するかどうかを定義します。  このコマンドの <code>no</code> 形式を使用すると、メディア損失検出時の Middlebox Pin Hole Timer Expired イベントの生成はディセーブルになります。  デフォルトでは、イベントが生成されます。  MGC は、 <code>h248-media-alert-event</code> が設定されているかどうかにかかわらず、Network Package Quality Alert イベントの生成を要求できます。例： E=1000 {nt/qualert {th=99, ST=2} }
ステップ6	<code>commit</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe)# commit	設定変更を保存します。実行コンフィギュレーション ファイルに変更を保存し、コンフィギュレーション セッションを継続するには、 <code>commit</code> コマンドを使用します。
ステップ7	<code>exit</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-dbe-vdbe)# exit	現在のコンフィギュレーション モードを終了します。

## その他の関連資料

次の各項では、H.248 nt/qualert イベントの実装に関連する参考資料を示します。

## 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

## 標準

標準	タイトル
ETSI TS 101 332 V4.1.1	『Middlebox Pin Hole Timer Event Package』
ITU-T H.248.1v3	『Network Package Quality Alert (nt/qualert) Event』

## MIB

MIB	MIB のリンク
—	<p>Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。</p> <p><a href="http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml">http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</a></p>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	<a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a>